

# 理学療法かわら版

一般社団法人  
山形県理学療法士会

目次	理事リレーコラム ……………	1	施設紹介 ……………	10
	平成28年度表彰者紹介と会員へのメッセージ …	2	会員動向 ……………	11
	各部活動紹介 ……………	4	事務局より・編集後記 ……………	12
	未来を担うフレッシューズ紹介 ……………	7		



## 理事コラム

学術局長  
山形医療技術専門学校  
杉原敏道

専門領域推進部の理事をしている杉原です。この専門領域推進部は新たに立ち上がった部局で、理学療法士の専門分野における臨床力をさらに向上させることを目的に、士会員の皆様の専門あるいは認定理学療法士の取得向上はもちろんのこと、各領域で専門や認定を目指す会員の互助的つながりを構築するために設けられた部局です。現在は、脳血管、運動器、スポーツ、小児、難病、生活支援、ウイメンズヘルスの計7領域で活動を行っています。

主な活動内容としては、各領域の部員と、それぞれの領域に登録して頂いた会員の皆様と研修会や勉強会の企画・運営を行っています。これまでの研修会や勉強会は県士会が主導となりの企画を行ってきました。しかし、医学の進歩や様々な制度改革に伴い、理学療法士に求められる社会的ニーズは多様化してきており、各専門領域で活動されているすべての会員の皆様に即した十分な研修会や勉強会が実施できていなかった部分もあったかと思えます。そのため、会員の皆様には、ぜひ各領域に登録して頂き、

その領域で必要とされていることなどについての意見を頂き、研修会や勉強会を企画して頂ければと考えています。

また、山形県内における専門、認定理学療法士の取得率は決して高いものではありません。専門や認定を持つことが全てではないとは思いますが、しかし、専門や認定は研修会や勉強会に参加し研鑽を積み重ねた結果であると思えます。理学療法サービスを受ける対象者に、より最適な理学療法を提供する意味でも、研修会や勉強会に参加して頂くことはもちろんのこと、それぞれの領域に所属して頂き、その領域を盛り上げて頂きたいと考えております。このような活動が対象者に対する理学療法の質を高めるとともに、我々が提供する理学療法の未来を築くものと思えます。

# 神先 秀人 先生

## 第34回 日本理学療法士協会賞を受賞



平成28年6月3日の日本理学療法士協会定時総会において、神先秀人先生（山形県立保健医療大学）が、第34回日本理学療法士協会賞（成果分野）を受賞されました。

協会賞は、永年にわたり日本理学療法士協会において、理学療法士の向上と発展に顕著な功績のあった会員に対して、理学療法士協会表彰委員会の儀を経て表彰されるものです。

協会賞は善行分野、功労分野、成果分野があり、神先先生は成果分野での受賞となりました。成果分野の表彰は、理学療法の職域の拡大および開拓などに格段の功績のあった会員であって、これまでに前例のない

新しい領域において理学療法を展開し一定の成果を収めた会員、または理学療法の可能性を広げることにつながる発明または発想により一定の成果をおさめた会員へ行われます。

このたびの受賞は、神先先生のこれまでの業績が理学療法の開拓に貢献したことが認められたものです。受賞は、神先先生にとって名誉なことであると同時に、県内で働く全ての理学療法士の励みとなるものです。

このたびの受賞にあたり神先先生にインタビューをさせていただきましたので、神先先生からのメッセージを是非ご覧ください。



## インタビュー

### 1. 日本理学療法士協会賞を受賞しての感想をお願いします。

それほど立派な研究や教育、地域貢献をしたわけでもなく、また、県士会の仕事に至っては、倫理委員長の責務もろくに果たしていない私を、山形県理学療法士会より推薦いただきましたこと、また、結果としてこのような賞をいただきましたことに感謝するとともに、大変恐縮しております。高橋俊章会長をはじめ、表彰委員会の皆様、並びに関係諸氏に対し、熱くお礼申し上げます。

また今回の受賞理由の1つに、山形県介護予防体操である「花の山形! しゃんしゃん体操」の開発・普及に関わったことが挙げられておりました。この体操の開発・普及は、本学の理学療法学科、作業療法学科、看護学科教員を始め、山形県健康福祉部や山形県健康づくり推進機構の方々など多くの人々の協力の下で推進されてきました。これらの関係者の方々にも深く感謝申し上げます。

### 2. 理学療法士を目指したきっかけは何ですか。

「しらけ世代」と呼ばれた時代に生き、高校卒業後、将来が見えないまま、ぶらぶら浪人生活を送っていました。その頃、離れて暮らしていた祖父が脳卒中で倒れ、宮崎県の病院に入院しました。そして、暇だった私に、1週間くらいの付き添いを任されました。半分旅行気分で行ったのですが、その時に初めて理学療法士らしき方に出会い、厳しい治療場面を見て少しびっくりするとともに、「わるくない仕事だな」と思いました。その後、新聞の日曜日版に理学療法士と養成校(府中リハビリテーション学院)の紹介記事が掲載され、母から勧められたのがきっかけです。親から離れて東京で自由に暮らせる(と思った)ことと、学費がかからないという点も大きな魅力でした。

### 3. 理学療法士としての信念を教えてください。

明確な信念は持っていませんが、「患者さんの立場に立つこと」を常に意識するように心掛けています。

### 4. 理学療法士を続けてきて大変だったこと、またそれをどのように乗り越えてきたのですか。

大学病院に勤務した当初は、「リハビリテーション」や「理学療法」に対する認知度が大変低かったため、院内で、自分たちの仕事を理解してもらうためにそれなりの努力はしました。臨床におけるコミュニケーションの場だけではなく、勉強会や様々な事業など、医師や看護師、事務職の方々と一緒に動く機会を通して、少しずつ信頼関係が高まり、リハビリテーションへの理解も深まっていったように思います。今、振り返りますと、あの頃は、「前進あるのみ」の楽しい時期でもあったと思います。

### 5. 現在の活動内容、取り組みを教えてください。

地域活動としては、これまで行ってきた介護予防体操の普及を続けるとともに、本年当初からは、山形県健康づくりプロジェクト推進室の依頼を受け、7月末に天童イオンモールで始まる「山形健康づくりステーション」に関わっています。高齢者だけではなく、若い方までを対象にした健康づくり事業です。

研究活動としては、主に、高齢者や運動器疾患を対象とした運動学的な研究を続けています。本学の大学院生は、社会人の方が大半を占めており、庄内地方から通う大学院生も、現在3名おられます。広報活動で申し訳ありませんが、皆様方の、本大学院への入学を歓迎します。

### 6. 今後の夢をお聞かせください。

老後のことはあまり考えたくは有りませんが、「家庭菜園」、「喫茶室の経営」と言うと、周りの人達からは「あなたには無理」と否定されます。

「できそうにない何かを求め続けること」が夢なのかもしれません。

### 7. 若い会員へのメッセージをお願いします。

理学療法士の仕事は、命に直接関わることはありませんが、生活には深く関わる仕事だと思えます。生活に関わるということは、ご本人の大切な人生に関わることであり、家族などの周囲の方々にも影響を与え得る、非常に重責のある、且つ、やりがいのある仕事だと思えます。弱い立場にある患者さんのために、理学療法士としての誇りと責任感を持って、日々の臨床に当たっていただきたいと思えます。

また、理学療法は、「正しい」と明言できることがわずかしかなく、まだまだ発展途上にあります。自らの臨床を批判的に吟味しながら、是非とも理学療法の発展に貢献いただきたいと願います。

ありがとうございました。



# 各部活動報告

## 平成28年度 第1回置賜支部勉強会報告書

- 【開催日時】平成28年7月8日（金）  
【開催場所】高畠町中央公民館  
【参加者】62名（18施設）  
【内容】1）地域ケア会議報告  
2）介護予防事業における  
各施設での取り組み報告  
3）全体討議

### 【報告者】

- 1) 地域ケア会議 井上 由香先生  
(介護老人保健施設美の里)  
2) 介護予防事業における各施設での取り組み  
鈴木 美帆先生 (介護老人保健施設リバーヒル長井)  
鈴木 将之先生 (川西湖山病院)  
高橋 寿和先生 (公立高畠病院)

この度の勉強会では、介護領域における大きなテーマとして掲げられている地域包括ケアに関連して導入された地域ケア会議の実際に関して井上由香先生に報告頂いた。飯豊町における地域ケア会議の実際や課題などを率直にお話しいただき、我々に求められているものが何なのか、またどのような姿勢で臨むものなのかと

いったことも学ぶ機会となった。また介護予防事業における各施設での具体的な取り組みについて、鈴木美帆先生、鈴木将之先生、高橋寿和先生の3名から報告頂いた。規範的統合を合言葉に国や地方自治体が動き出している中で、我々理学療法士が担う役割について真摯に考え、地域の中で協調していく為の良いきっかけとなったと思われる。参加者も着実に増加しており、今回は18施設62名の方々に足を運んでいただいた。若い療法士の参加が目立つ中、中堅を担う10年目以降の参加者もみられ、地域の療法士の基盤となるネットワークまた、『顔の見える支部活動』が実現できていると感じた。



(文責：公立置賜総合病院 須貝雄大)

## 平成28年度 置賜支部第2回勉強会報告

- 【日時】平成28年9月16日（金）  
【会場】米沢市すこやかセンター  
【テーマ】肺理学療法（講義と実技）  
【参加者】58名  
【講師】菅野 英雄先生、後藤 忠幸先生  
宮坂 怜先生（三友堂病院）  
佐藤 堅一先生、小松 裕和先生  
関原 雅人先生（米沢市立病院）  
佐藤 昌利先生（三友堂訪問看護ステーション）  
海老名陽介先生（公立置賜総合病院）

平成28年度置賜支部の第2回勉強会は、上記テーマにて、8名の講師の先生をお招きして開催されました。講師の先生方は皆さん3学会合同呼吸療法認定士の資格をお持ちの方々です。前半は、菅野英雄先生より「肺理学療法」のテーマで、肺理学療法の目的、呼吸器の構造、呼吸器フィジカルアセスメントについての講義を行っていただきました。解剖学や生理学の内容も含まれており、肺理学療法に取り組む上での基礎的な内容をお話していただきました。後半の実技は、7名程度のグループに分かれ、体表解剖、肋骨の動き、呼吸介助の練習を行いま

した。呼吸介助については上部胸郭、下部胸郭に対して、それぞれに適した姿勢や方法を紹介していただきました。特に体の使い方や手の触れ方、力の入れ方など講師の先生から直接アドバイスをいただける機会となりました。最後に菅野先生よりCOPDについてのお話もあり、普段接している患者さんの中にも肺理学療法を必要としているのに見過ごされている可能性があることを強調されていました。今回のように小グループに分かれての実技という形式は置賜支部では初の試みでした。会場が狭く、周りを気にせざるを得ないところもありましたが、正しい技術を直接目の当たりにできたという点で参

加者にとって肺理学療法を学ぶ良いきっかけになったと思います。



(文責：介護老人保健施設かがやきの丘 吉見 徹)

## ●平成28年度 庄内支部第2回勉強会報告●

【テーマ】1症例検討会～腰椎破裂骨折後に  
下肢神経症状を呈した症例～  
生活期における他職種連携を考える

【日 時】平成28年9月14日 (水)

【会 場】日本海総合病院リハビリテーション室  
平成28年度庄内支部第2回勉強会の1症例検討会を9/14に日本海総合病院を会場に行いました。今回で1症例検討会は、3回目の開催となり庄内支部恒例の勉強会となりつつあります。症例を決める難しさや準備の大変さなどから継続が危ぶまれたこともありましたが、前回参加者の方々から継続を望む声を頂き、今年度も開催する運びとなりました。過去2回は急性期と回復期の経過を追った内容でしたので、今回は生活期に焦点をあてました。

症例の経過は、急性期を日本海総合病院の佐藤克実先生に、生活期を介護老人保健施設「うらら」の矢島慎也先生に報告して頂きました。その後、グループ・ディスカッションで施設退所後のデイケア、訪問リハビリを行う上で、理学療法士としてどのような予後予測、目標設定、アプローチを行うかを討論しました。ディ

スカッション後に実際の在宅での経過と結果を報告して頂き、予測以上の回復をとげられており、研修会の最後のエンドロールムービーでは利用者さんから「皆さん勉強頑張ってください」と我々への激励のメッセージもあり、会場が感動に包まれました。

平日の勤務後にお集まりいただいた参加者の皆様、大変お疲れ様でした。また、座長の介護老人保健施設 明日葉の遠藤友紀先生、発表して頂いたお二人の先生方に深く感謝いたします。



(文責：秋野千穂)

## 平成28年度 第2回生涯学習部研修会

【開催日時】平成28年8月28日（日）

【開催場所】山形医療技術専門学校

【参加者】研修会66名

（新人プログラム未終了者を含む）

【内容】必須テーマ（5単位）

【テーマ】

「理学療法の研究方法」（必須）

山形医療技術専門学校

長沼 誠 先生

「生涯学習と理学療法の専門領域」（必須）

鶴岡協立リハビリテーション病院

齋藤 高興 先生

「臨床実習指導方法論」（必須）

山形医療技術専門学校

杉原 敏道 先生

「運動器疾患の理学療法」（必須）

山形県立保健医療大学

中野渡 達哉 先生

「内部障害の理学療法」（必須）

公立置賜総合病院

海老名 陽介 先生

【新人会員より】

「第2回生涯学習部研修会感想」

山形県立中央病院 加藤 太祥

今回、新人教育プログラムの5つのテーマについて先生方から講演して頂きました。『理学療法の研究方法論』では、臨床現場で感じた疑問を自ら研究することで、理学療法の発展や臨床技術の向上につながると思いました。『生涯学習と理学療法の専門領域』では、生涯理学療法士として働く上でスキルアップのために認定・専門理学療法士の資格を取る必要があると思いました。『臨床実習指導方法論』では、指導者の指導力により学生の成長や進路に大きな影響を与えるため指導者には重い責任があり、これから実習指導者になる上で理学療法技術だけでなく、実習生の性格に合わせて指導方法を柔軟に変更する対応力が必要だと思いまし

た。『運動器疾患の理学療法』と『内部障害の理学療法』では、効果的に理学療法を提供するための患者様への指導方法や触診や聴取などの評価技術の重要性について学ぶことができました。今回、学んだことを臨床で生かしていきたいです。

「研修会に参加して」

北村山公立病院 葉山 静香

8月28日に行われた第2回生涯学習部研修会に参加して、患者さんに対する理学療法士としての接し方やあるべき姿について考える良い機会となりました。年々、理学療法士数は増加しています。そのため、これから必要とされるのは、より専門性の高い理学療法士だと思います。様々な研修会に参加し、基礎を固めて、多様な症例に柔軟に対応出来る理学療法士を目指していきたいです。私が入職して約半年が経ちますが、私自身、患者さんが積極的にリハビリに参加できるような声掛けや環境整備が不十分だと感じる場合があります。この点に関しては、経験の浅い1年目の私でも意識することで実施・改善できるのではないかと思います。今回の研修会で学んだセルフ・エフィカシーの高め方を再度確認、実践し、患者さんにとって充実したリハビリとなるよう、日々努力していきたいと思えます。



（報告者：公立置賜長井病院 高橋みゆき）



# フレッシャーズ紹介.....



内容

①勤務先 ②経験年数 ③出身地 ④ 出身校 ⑤趣味・特技 ⑥コメント



坂井一哉

- ①山形市立病院 済生館
- ②1年目
- ③東根市
- ④山形県立保健医療大学
- ⑤野球
- ⑥患者様のために精一杯がんばります！



高橋美砂希

- ①国立病院機構山形病院
- ②1年目
- ③山辺町
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤旅行、ドライブ
- ⑥患者様から信頼される理学療法士になれるよう毎日笑顔で頑張ります。



鈴木崇広

- ①公立高島病院
- ②1年目
- ③高島町
- ④山形県立保健医療大学
- ⑤バドミントン
- ⑥患者様に信頼されるリハビリを提供出来るように頑張ります。



荒木訓

- ①公立高島病院
- ②1年目
- ③山形市
- ④山形県立保健医療大学
- ⑤野球
- ⑥日々勉強に励んでいきたいと思っています。



会田航

- ①三友堂リハビリテーションセンター
- ②1年目
- ③南陽市
- ④東北福祉大学
- ⑤音楽鑑賞・おいしいものを食べる
- ⑥毎日明るく笑顔で患者様と接していき一人でも多くの方を笑顔にできる理学療法士として努めていきたいです。



今野龍之介

- ①三友堂リハビリテーションセンター
- ②1年目
- ③川西町
- ④東北文化学園大学
- ⑤スポーツ(フィールドホッケー)、サッカー・野球観戦
- ⑥分からないことはそのままにせずすぐに解決し、患者さんに少しでも多くの質のあるリハを提供できるように日々精進していきます。



渡部崇久

- ①舟山病院
- ②1年
- ③高島町
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤絵をかく事
- ⑥理学療法士として患者様に何ができるか常に考え、精一杯頑張りたいと思います。



菅原彩香

- ①美咲クリニック
- ②1年
- ③鶴岡市
- ④新潟医療福祉大学
- ⑤夜中のドライブ・ダンス
- ⑥常に笑顔で、患者様の心と身体の支えになれるPTを目指します。



阿部貴広

- ①みゆき会病院
- ②1年目
- ③酒田市
- ④山形県立保健医療大学
- ⑤PC関係
- ⑥患者さんの目線に立って患者さんの援助ができるPTになれるよう頑張ります。よろしくお願ひ致します。



鈴木明香里

- ①みゆき会病院
- ②1年目
- ③川西町
- ④新潟医療福祉大学
- ⑤バレーボール・書道
- ⑥患者様の気持ちに寄り添い、信頼されるような理学療法士になれるようがんばりたいと思います。よろしくお願ひ致します。



佐藤和輝

- ① ゆうき整形外科
- ② 1年目
- ③ 山形市
- ④ 山形医療技術専門学校
- ⑤ 筋トレ、瞑想
- ⑥ 骨を粉にし、身を砕く覚悟で頑張ります！



加藤沙織

- ① 吉岡病院
- ② 1年目
- ③ 山形
- ④ 山形県立保健医療大学
- ⑤ 観光
- ⑥ 患者さんに信頼してもらえるPTになれるよう頑張ります。



樋口竜也

- ① 吉岡病院
- ② 1年目
- ③ 山形
- ④ 仙台保健福祉専門学校
- ⑤ スノーボード、ゴルフ、自動車
- ⑥ 患者さんの心に寄り添えるPTを目指して頑張ります。



熊澤海大

- ① 吉岡病院
- ② 1年目
- ③ 天童市
- ④ 山形医療技術専門学校
- ⑤ DVD鑑賞
- ⑥ 患者さんと笑顔になれるPTになれるよう頑張ります。



村田夕海

- ① 山形県立こども医療療育センター
- ② 1年目
- ③ 鶴岡市
- ④ 東北福祉大学
- ⑤ 音楽鑑賞
- ⑥ 患者様に最善の理学療法を提供できるよう、日々努力していきたくと思います。



加藤太祥

- ① 山形県立中央病院
- ② 1年目
- ③ 山形市
- ④ 山形県立保健医療大学
- ⑤ 食べ歩き
- ⑥ 患者様のために身を粉にして働きます。



高平真澄

- ① 山形県立中央病院
- ② 1年目
- ③ 山形市
- ④ 山形県立保健医療大学
- ⑤ 野球観戦
- ⑥ 1つ1つ吸収していきながら、患者様やそのご家族のために日々頑張りたいと思います。



中村野土楓

- ① 篠田総合病院
- ② 1年目
- ③ 山形市
- ④ 山形医療技術専門学校
- ⑤ ラーメン巡り
- ⑥ 毎日笑顔で患者様にも笑顔になってもらえるようなセラピストになれるよう頑張っています。



渡部美穂

- ① 公立置賜長井病院 リハビリテーション科 理学療法士
- ② 1年目
- ③ 南陽市
- ④ 山形県立保健医療大学
- ⑤ バスケットボール、ラーメン巡り
- ⑥ 目の前の患者様をしっかりと見られるように、一生懸命頑張りたいと思います。



嶋貫竜也

- ① 三友堂病院
- ② 1年目
- ③ 飯豊町
- ④ 了徳寺大学
- ⑤ 相撲
- ⑥ 目的を持ち、努力を重ねていきます。



医療機器・福祉用具販売レンタル  
TOTAL MEDICAL COMMUNICATION

株式会社 **トーク**

日医器連通正事業所 第9406017号  
福祉用具貸与事業所 0670700434  
E-mail: took@coral.ocn.ne.jp

〒997-0806  
山形県鶴岡市遠賀原字稲荷41-2  
TEL (0235) 22-1009 FAX (0235) 25-8139

## 安心と信頼

・前腕義手・股義足・下腿義足・骨格構造義肢・  
(大型脚断端を含む)

・腰・胸椎装具・靴型短下肢装具・歩行補助つえ・車イス・  
(コルセット)

山形県指定一級義肢装具士

**安達ブレイス製作所**

安達 武雄  
山形市江俣3丁目15-1  
☎(023) 681-0456



- ①三友堂病院
- ②1年目
- ③米沢市
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤水球 映画鑑賞
- ⑥常に目標をもって頑張りたいと思います。

近野 萌実



- ①三友堂病院
- ②1年目
- ③川西町
- ④東北福祉大学
- ⑤野球 ゲートボール
- ⑥日々成長できるよう頑張ります。

安部 光太郎



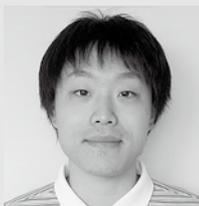
- ①山形ロイヤル病院
- ②1年目
- ③尾花沢市
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤柔道
- ⑥者様のために精一杯頑張ります。

阿部 京子



- ①山形ロイヤル病院
- ②1年目
- ③山形市
- ④形医療技術専門学校
- ⑤趣味：野球・サッカー観戦 特技：野球
- ⑥常に患者様の事を考え、日々の治療に取り組み精進していきたいと思っています。

東海林 拓也



- ①介護老人保健施設 新庄薬師園
- ②1年目
- ③山形県真室川町
- ④東北福祉大学
- ⑤理学療法関係のイラスト収集・パワーポイント
- ⑥まずは今出来ることに一生懸命取り組みたいと思います。よろしくお願ひ致します。

井上 将哉



- ①新庄徳洲会病院
- ②1年目
- ③村山市
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤ポケモンGO
- ⑥日々勉強し、患者様のために精一杯頑張ります。

佐藤 真理絵



- ①北村山公立病院
- ②1年目
- ③村山市
- ④山形県立保健医療大学
- ⑤ソフトボール
- ⑥患者さんとしっかり向き合い、自分に出来ることを精一杯行っていきたいと思っています。

葉山 静香

医学書のことならお任せください



日本医書出版協会認定医学書専門店  
医学書、看護学書、医書一般

株式会社 **高陽堂書店**

山形市大野目 3-1-17 TEL 023(631)6001 FAX 023(632)1168  
http://www.koyodo.com/ email info@koyodo.com

山形県より、福祉用具販売・取付の推薦を  
いただき、官公需適格組合証明を取得

協同組合 **生活住環境整備山形**

〒990-0805 山形市檀野前 13-2

TEL 023-681-5030 FAX 023-681-7609

# 施設紹介

## 山形ロイヤル病院

当院では、山形県の北村山地区を中心に、主に一般（急性期）病院を退院された亜急性期から慢性期の患者さまや、在宅医療や介護施設では対応困難な医療行為を必要とする患者さまを対象に診療しております。病床数は322床あり、入院の患者様へのリハビリはもちろん、院内に併設されているデイケア、外来リハビリ、訪問リハビリ等も展開しております。基本理念である、「あふれる笑顔、しんしな態度、たゆまぬ努力 ～あしたの医療を理念に、患者様の喜ぶ医療・介護サービスの探求～」をモットーに、快適な療養環境が提供できるよう努めております。リハスタッフはPT20名、OT16名、ST4名、合計40名体制で勤務しております。私たちは患者様の環境因子・個人因子を十分に把握した上で個別性のあるリハビリテーションが展開できるよう精進しております。ADLの向上を図りながら社会参加へ促し、

地域に貢献できるよう日々取り組んでいきたいと思いをします。



## 鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院

当院は診療科として内科、脳神経外科、リハビリテーション科があり、回復期リハビリテーション病床81床、療養病床39床の回復期・維持期の病院です。対象疾患は脳血管疾患、大腿骨近位部骨折、脊椎圧迫骨折、廃用症候群、脊髄損傷や難病等と様々で、急性期治療が終わった時点で社会復帰・自宅退院出来ない方に、病状に応じた365日リハビリテーションを提供しています。またデイケア室も併設しているため、在宅復帰された方へも一貫したリハビリテーションの提供が可能です。

協働しながらより良いリハビリテーションを提供していきたいと考えています。



スタッフ数はPT30名、OT27名、ST4名の計61名で、スタッフ同士仲が良くコミュニケーションが絶えないので、対象者の情報共有も円滑に行えています。

今後も地域に根差した病院を目指し、多職種と

■ **会員動向** (平成 28 年 12 月 4 日現在)

【勤務先変更】

会 田	航	三友堂リハビリテーションセンター
遠 藤	優 希	介護老人保健施設あづま
奥 山	恵 莉 香	鶴岡協立リハビリテーション病院
小 林	彩 乃	鶴岡協立リハビリテーション病院
佐 藤	智 恵 子	鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院
八 矢	絵 里	在宅リハビリ看護ステーションつばさ

【他士会から転入】

木 房	美 江	神奈川県士会より	勤務先名	自宅
田 中	美 優	宮城県士会より		吉岡病院

【改 姓】

		旧姓
齊 藤	友 希	鹿野
高 橋	美 帆	鈴木
平	詩 歩 子	中川

会員数 874 名 施設数 150 施設  
賛助会員 16 社

**山形小木医科器械株式会社**

山形市北町三丁目 8 番 2 0 号  
電話 (023) 681-3633 (代)

質の高い福祉用具レンタルで介護保険を応援します  
あなたの笑顔が見たいから

●リネンサプライズ・ホスピタルリネン事業部 ●ホームヘルスケア事業部 ●リースキン事業部

**株式会社 蔵王サプライズ**

ホームヘルスケア事業部 山形市銅町二丁目 21 番 4 号 TEL (023) 674-9600  
支店・営業所 仙台支店/新庄営業所/庄内営業所

福祉機器・介護用品販売レンタル/車いすオーダー制作

**(有)アシスト**

〒991-0048 山形県寒河江市みずき一丁目6-4  
TEL(0237)83-5525/FAX(0237)85-5454  
E-mail:assist@corp.email.ne.jp

◆山形県厚生省労働省指定◆  
**(有) 渡部 義肢**

◆営業品目◆  
義足・義手、コルセット、車椅子、ステッキ、下肢装具、上肢装具、骨格義足(モジュラー)  
〒997-0861 山形県鶴岡市桜新町8番地52号  
TEL(0235)25-9366 FAX(0235)25-9364

福祉用具開発・レンタル販売 <http://www.tamatsu.jp>



本 社 山形県鶴岡市美咲町32-7(〒997-0857)  
TEL 0235-23-6333/FAX 0235-25-3889

福祉用具の製作・販売・レンタル

**風の郷工房 (有)**

東置賜郡高島町一本柳 2535-1  
座位保持装置・車椅子  
電動車椅子・歩行器など  
TEL 0238-52-1446 FAX 0238-52-1411  
URL : <http://www.kazenosato.co.jp/>

●楽天カードでの会費の納入をお願いします

日本理学療法士協会では、会費納入用クレジットカードとして「楽天カード」（年会費無料）を指定しております。会費の納入漏れがなくなり、手数料も無料です。

・楽天カードの主な特徴と機能

会費（初年度除く）の自動引き落としが可能です。  
書籍購入（一部割引）等が可能になります。

・申し込み方法

日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」より申込みください。

楽天カードを既にお持ちの方は、所定の手続き後にお手持ちのカードが、会費決済用カードとして利用可能となります。日本理学療法士協会ホームページの「会員の方へ」→「年会費」にて、お手続きをお願い致します。

●会費割引制度導入について

2015年度年会費より、「育児休業割引」と「シニア割引」が導入となりました。対象の方は、日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」→「会員管理」→「会費割引申請」にて、お手続きをお願い致します。

●会員登録情報について

山形県理学療法士会では会員管理のために、日本理学療法士協会の会員情報を共有しております。会員情報に変更がありましたら早急に日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」より会員情報の変更をお願い致します。

思いやりリハビリ・まごころケア

**(有) 福祉用品やまがた**

介護用品ショールーム

〒998-0842 山形県酒田市亀ヶ崎4-2-40  
電話 (0234) 26-1725  
FAX (0234) 26-6780

オーダーメイドの福祉用具



**株式会社 ライフケアサポート**

山形県東根市温泉町1-13-10  
TEL0237(43)6833 FAX0237(43)6832

医療の未来を見つめる総合商社



**岡崎医療株式会社**

■本社 山形市あこや町三丁目4番3号  
■山形営業所 〒990-0025 ☎023(代)623-0546番  
■鶴岡営業所 鶴岡市大字安丹字村上4番10号  
〒997-0057 ☎0235(代)22-0106番

明日への地域医療・高度医療に貢献する

—信頼される技術とサービスを人へ社会へ地域へ—



ライフテクノロジーを追求する  
**株式会社 シバダイnteck**

本社 〒984-0015 仙台市若林区卸町二丁目11-3  
TEL 022(236)2311(代表) FAX 022(236)2362

・山形支店・荘内営業所・鶴岡営業所・郡山営業所・ヘルスケアセンター・物流センター・メンテナンスセンター

ホームページ：[www.shibaintech.co.jp](http://www.shibaintech.co.jp)



厚生労働省  
山形県指定  
福祉法義肢製作所指定

**有限会社 山形義肢研究所**

—営業品目— 代表取締役 植松茂夫  
義手・義足・コルセット・補装具  
補助ステッキ・松葉杖・車いす  
整形医療器具  
山形市飯田五丁目5番39号  
電話 (023) 632-5214



義肢・装具・車いす  
他整形医療器具製造・販売

**(有) エムサポート**

〒990-2212 山形市上柳110  
TEL(023)687-2800 FAX(023)687-2812  
取引銀行 山形銀行宮町支店(普通)0241881

**編集後記**

平成28年度2巻目となるかわら版第14巻を発行させていただきます。今回は神先先生の協会賞受賞の報告、各部の活動報告を中心に掲載しています。協会賞を受賞されました神先先生誠におめでとうございます。各部の活動報告に関しましては、今回の掲載の他にもHPに随時UPしておりますのでぜひ、そちらも確認してください。

広報部では会員の皆様に幅広い情報を発信するために、今後とも情報収集に努めてまいります。皆様からの掲載原稿もお待ちしております。何か掲載してほしいものがございましたらお気軽にご連絡ください。HPへの掲載も受け付けております。連絡先は下記までお願いします。よろしくお願いいたします。

三友堂リハビリテーションセンター  
島貫

■発行/一般社団法人 山形県理学療法士会

■発行者/高橋 俊章

■編集者/岩井 章洋

■広報部/三友堂リハビリテーションセンター

〒992-0057 山形県米沢市成島町3丁目2番90号  
TEL (0238) 21-8100 FAX (0238) 21-8119  
E-mail: [ptkouhoubu@yahoo.co.jp](mailto:ptkouhoubu@yahoo.co.jp)